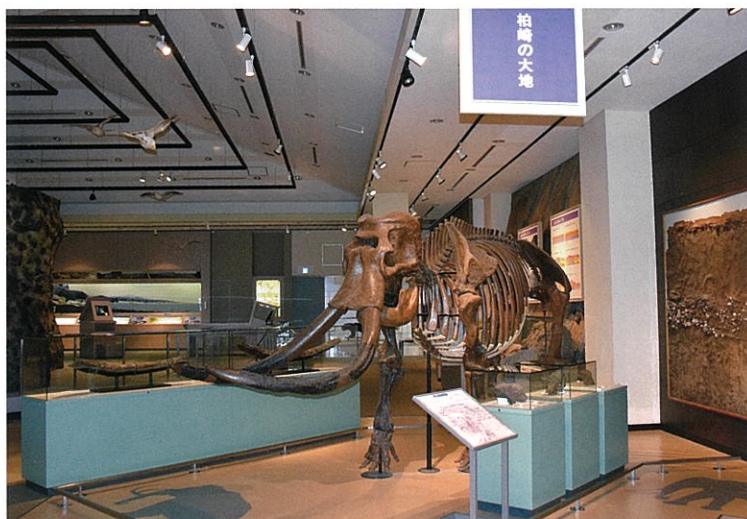


柏崎市立博物館友の会 ◆〒945-0841 新潟県柏崎市緑町8-35 赤坂山公園内 TEL 0257-22-0567

博物館モノがたり

鯨波のナウマンゾウ化石



ナウマンゾウの全身骨格（模型）



上顎第3大臼歯左右一对（実物）



左上顎第3大臼歯



右上顎第3大臼歯

柏崎市民の多くが利用する国道8号線。鯨波を通るときに、小さな山のようにになっている場所を見かけたことはありませんか。そこに立っている看板にも書かれているとおり、「ナウマンゾウ発掘の地」なのです。

昭和39(1964)年、柏崎市鯨波の国道工事現場で切通し北法面の仕上げ作業中に、ナウマンゾウ *Palaeoloxodon naumanni* の臼歯の咬板（臼歯がバラバラになった板状のもの）6個と切歯（キバ）2個が発見されました。そして、柏崎ナウマンゾウ研究会が発足し、昭和61(1986)年に発掘調査が実施され、数個のナウマンゾウ化石と様々な動植物化石が発掘されました。

ナウマンゾウ産出地点付近の地質は下から米山層、青海川層、安田層、番神砂層で構成され、このうち安田層からナウマンゾウの化石が発掘されました。自然展示室では、安田層Ⅶ層から発掘された切歯2本と安田層Ⅴ層から発掘された上顎第3大臼歯左右一对（当初は上顎第1大臼歯と考えられていたものが、のちに北川・高橋(2010)*より上顎第3大臼歯であると判明）の実物を展示しています。

今回は臼歯に着目してみましょう。輪状の模様が見える面を咬合面といい、噛み合わせの面にあたります。臼歯が擦り減ることで、この模様ができます。この輪のような模様は固いエナメル質でできており、その内側をゾウゲ質、外側をセメント質が埋め、このでこぼこが石臼の目のように食べ物をすりつぶすのに役立ちました。この模様がゾウの種類によって異なるとともに、何を食べていたのか予想することが出来ます。臼歯のエナメル質の厚さと輪の数から、ナウマンゾウは木の葉や若芽、草などいろいろなものをすりつぶして食べていたと考えられています。ゾウの研究において、臼歯はとても重要なのです。展示資料の一つである左上顎第3大臼歯（複製）は他の資料と違ってガラスケースを被せていません。是非触ってみていただければと思います。（市村 瑠美 学芸員）

*北川博道・高橋啓一 (2010) ナウマンゾウの第2,第3大臼歯の形態的特徴とそれに基づく臼歯標本の再検討の例, 化石研究会会誌, 43 (1), 30-39.

友の会行事報告

探訪! となりの博物館① 糸魚川編 —木地屋とヒスイと塩の道—

6月14日(土) 8時~16時30分 参加者19名

となりの博物館—糸魚川編—は昨年9月に開催が台風で中止となり今回、やっと念願かなって行って来ました。小雨の中の見学でしたが翌日から猛暑となり、熱中症が心配される程でしたので暑なくてよかったです。

「木地屋民俗資料館」は館長の先代が住んでいた古民家を移築、ぬり・蒔絵まで学び、漆器産地になったこと。今まで知らなかった事柄について知識を増やせて感謝です。また、若かりし頃に登った明星山がフォッサマグナの地にあった事、新たな知識となりました。

「塩の道資料館」では“ボッカ”が荷を運搬するときに使用するショイコとニズンボウなど見せて頂き、当時の暮らしに思いを馳せました。

(会員 竹之内隆子)



明星山の
大岸壁で
集合写真



木地屋民俗資料館



小滝川ヒスイ峡



塩の道資料館

学芸員のオタク講座⑬ 柏崎の高札 —館蔵資料から考える—

6月21日(土) 13時~15時 参加者12名

時代劇などでしばしば登場する高札は、当時の法令や禁令などを板札に墨書きし、町の辻や橋詰など人目につきやすい場所に立てられた掲示物です。今回は館蔵の実物資料を手がかりに、部位の名称をはじめ、記載内容による分類、各高札の使用や伝存のあり方についても解説があり、基本的な高札の見方を学ぶことができました。



シリーズ「金の道を行く」① はじまりの北国街道

—金の道と北前船で栄えた天領・出雲崎宿—

7月23日(水) 9時~16時40分 参加者19名

金の道と北前船で栄えた天領・出雲崎宿。時代館から始まり、今は一部機械化され、海外でも販売されているという紙風船工房、ワークショップもありました。航海の安全を願い奉納された羽黒神社の船絵馬は色鮮やかだった事、白帆は反物巾のものを縫い合わせて作られたとの事は感動でした。

午後はガイドさんとまち歩き。独特な造りの妻入り街道、「妻入り会館」、「歴史や五郎兵衛」の雪室や通し土間、蔵戸前、出し棚、階下の船だまり。「廻船問屋」には船の荷積み・荷下ろし場が残されていました。良寛禅師生家跡地に建てられた「良寛堂」、禅師剃髪の寺「光照寺」、「芭蕉園」、代官所等々。ガイドさんの「出雲崎おけさ」も聴かせていただき、最後は夕競りと当時の生活や文化に数多く触れた見学会でした。(会員 O・M)



天領の里 時代館



紙風船ワークショップ



光照寺拝観



まち歩き

学芸員のオタク講座【番外編】 柏崎のダムと地域 8月23日(土) 13時～15時 参加者15名

柏崎のダムと地域について、ダムマイスターの目黒公司さんから解説していただきました。参加者は柏崎の水道事業の起源やダムと地域のつながり、さらにはダムの種類や特徴について学びました。またダムの現地写真や地形図を用いた説明で、充実した内容でした。

解説終了後の質疑応答では、多くの参加者から質問があり、“ダム”について関心が高まった講座でした。



10月～12月の友の会行事案内

お申込み方法

電話で友の会事務局(0257-22-0567)にお申込みください。

その際、参加者全員のお名前、連絡先(できれば携帯番号)、友の会会員か非会員かをお知らせください。

行事の申し込みは **9月25日(木)9時から**
受付けいたします

参加者募集

【1泊見学会】

匠の里 飛騨と円空仏をめぐる旅

山々にかこまれ、木材の産地として有名な飛騨には、「瀬戸川と白壁土蔵街」など匠の技をいかした風情ある町並みが残ります。作仏聖で知られる円空上人(1632-95)もここで晩年を過ごし、数多くの優品が伝わります。飛騨の匠と円空仏の個性ある造形を堪能する旅です。

日 時 11月6日(木)～7日(金)

出発／6日(木) 8:00

帰着／7日(土)17:00予定

集 合 博物館下の駐車場(大洲コミセン斜め前)

見学地 **1日目** 昼食：道

の駅アルプ飛騨古川(各自自由)、千光寺・円空仏寺宝館(円空仏 64体)、清峯寺・円空堂3体、飛騨古川まつり会館見学、宿泊：飛騨ともえホテル(TEL 0577-73-2056)

2日目 古川祭の鎮守・気多若宮神社参詣、古川界限まち歩き(飛騨の匠文化館・瀬戸川と白壁土蔵の町並み・円光寺など)、昼食：福全寺そば

定 員 25名(先着順)

参加費 会員 33,000円

(バス代+宿泊代+昼食1回+拝観料含む)

非会員 38,000円(同上)



聖観音菩薩(清峯寺)

渚の宝もの①

高浜海岸で秋のビーチ
コーミング

高浜海岸には貝・流木・ビーチコーミングなど様々な漂着物が打ちあがります。これらを拾い集め、来年2月のオブジェづくりの素材に活かします。そのイベントとしてビーチコーミングを楽しみます。

日 時 10月11日(土) 9:00～11:00

集 合 旧高浜小学校下駐車場

講 師 渚を楽しむ会

定 員 15名(先着順)

参加費 会員 無料

非会員500円(中学生以下は無料)



学芸員のオタク講座⑮

子どもの着物事情

—江戸時代の「柏崎日記」を事例に—

秋季企画展「子どもの着物一ひと針に願いを込めて」(同封チラシ)に関連して、昔の子どもの衣生活や成長儀礼の様子について紹介します。

日 時 11月1日(土)

13:30～15:00

集 合 博物館 小ホール

講 師 早川美奈子学芸員

定 員 15名(先着順)

参加費 無料



不動明王ほか(千光寺)



瀬戸川と白壁土蔵街(飛騨市古川)



手漉き和紙で作る一閑張り モビール(流木付き)

和紙の原料となるコウゾ(楮)を材料に、温もりのある和紙のオブジェを作ります。和紙に柿渋を塗り、素敵なオブジェを作ませんか？

日 時 11月12日(水) 9:00～12:00
会 場 博物館 小ホール
講 師 宮路さつきさん
定 員 15名(先着順)
参加費 会員 2,000円 非会員 3,500円



学芸員のオタク講座⑩ 土に暮らす生き物たち

足元には大小さまざまな生き物がいます。普段目にする事のない土の中の生き物や落ち葉の下にいる生き物など、いわゆる土壌動物を紹介します。特に、コウガイビルについて解説します。

日 時 12月6日(土) 13:00～15:00
会 場 博物館 小ホール
講 師 市村瑠美学芸員
定 員 15名(先着順)
参加費 無料



もうすぐお正月 八丁紙づくり

正月の飾り紙「八丁紙(袴紙)」を作いませんか？ お好みの型紙を選んでいただき、カッターで簡単なものは30分、手の込んだものは1時間ほどで完成します。1回の作業で数枚できますのでプレゼントにもなります。

日 時 12月25日(木) 9:00～16:00
12月26日(金) 9:00～16:00
会 場 博物館 エントランスホール
定 員 15名(先着順)
用 意 カッター
参加費 100円(一絵柄)



編集後記

【学芸員のオタク講座(番外編) 柏崎のダムと地域より】

今夏の暑さは異常でしたね。オタク講座の特別編で目黒公司様(魚沼市・ダムマイスター)のお話を聞き、改めて柏崎の先人達の努力のおかげで今、私達はおいしいお水やお米を口にしている事に只々感謝です。柏崎には8基のダムがあり、その内の3基は米山水系の川内ダム・谷根ダム・赤岩ダムで市営のダムです。柏崎の水道事業は昭和10年(1935)に開始され今年で90年になります。赤岩ダムでは管理用ボートで湖内を周遊する乗船ツアーも行われています。景色のとてもよい所です。残りの5基は鶴川と鯖石川水系で洪水調節と渇水期の灌漑用水の補給用のダムです。柏崎市立博物館2階の展示室に藤井堰頭首工の模型がありますのでご覧下さい。今後の友の会行事予定として一泊見学会等もあります。多くの皆様の参加をお待ちしております。

(編集委員 中村由紀子)